

参考資料

(障害児教育)

笹本健・大内進・武田鉄郎・石川政孝(2002)イタリアの特別な教育的ニーズを有する子どもの指導に関する調査研究. 科学研究費補助金(特別研究促進費(2))研究成果報告書 主要国の特別な教育的ニーズを有する子どもの指導に関する調査研究p81-95

鹿倉真理子(1999): 障害児教育. (仲村優一・一番ヶ瀬康子編、世界の社会福祉5フランス・イタリア). 旬報社.

一木玲子(2000): イタリアの「完全」統合教育の理念と普通学校の変革. 季刊福祉労働86世界の統合教育と日本の現状p21-27. 現代書館

(学校教育全般)

酒井ツギ子(2002): イタリア. 文部科学省編 教育調査第128集. 諸外国の初等中等教育p114-131.

パオロ・トリヴェッラート. 三石大介訳 (1999): 学校と教育. 馬場康雄・奥島孝康編 イタリアの社会 第3章p53-67. 早稲田大学出版

教育省ホームページ(教育関係法規、統計等)

MINISTERO DELL'ISTRUZIONE DELL'UNIVERSITA' E RICERCA

<http://www.istruzione.it/index.shtml>

イタリアてんかん協会

1992年2月5日104号基本法 Legge-quadro per l' assistenza, l' integrazione sociale e i diritti delle persone handicappate等の障害者の教育福祉に関する法規に関する情報

<http://www2.comune.bologna.it/bologna/aice/aice.htm>

エミリア・ロマーニャ州教育事務所Direzione Scolastica Regionale per l'E/R Ufficio Scolastico Regionale

<http://www.diversabili.info/>

ボローニャ県

*ボローニャ行政サービスセンターCENTRO DEI SERVIZI AMMINISTRATIVI DI BOLOGNA

<http://csa.scuole.bo.it/>

*ボローニャ県合同作業グループG. L. I. P (ボローニャ県のプログラム協定など)

<http://www.provincia.bologna.it/handicap/index.html>

モデナ県

*州学校教育事務所モデナ県行政サービスセンター

ハンディキャップのある児童生徒の統合事務所(モデナ県プログラム協定、ハンディキャップのある児童生徒の統合教育に関する統計、セミナー案内など)

UFFICIO SCOLASTICO REGIONALE - DIREZIONE GENERALE - CENTRO DEI SERVIZI AMMINISTRATIVI DI MODENA

UFFICIO INTEGRAZIONE ALUNNI PORTATORI DI HANDICAP

<http://www.csa.provincia.modena.it/integrazione/integraz.htm>

イタリアの地方自治体に関する情報

*財団法人自治体国際化協会

http://www.clair.or.jp/j/forum/c_report/cr176h.html

あとがき

本研究で、イタリアの北部ボローニャとモデナを中心に障害のある幼児児童生徒の統合教育の現状と課題について3年間にわたり延べ5回の実地調査を実施し、多くの学校、施設、ASL、大学を訪問し、多くの関係者と出会い、多くの資料を頂くことができました。イタリアのほんの一部の地域だけではあったが、そこで感じたことは、日本がこの20～30年間の間に少しずつ捨ててきた家族のつながりやスローフード運動に象徴される郷土の文化を育む生活など、グローバリゼーションの大波に気負わずに対峙してその土地の伝統や文化を大切にしている人々の心でした。

今回の調査研究のスタートにおいて、重度障害のある児童生徒の統合教育の現状を知りたいと考え、たまたま来日していたスウェーデン・モッカシーネン・トレーニングスクールの特殊教育家バルクマン石井さんに何気なく相談しました。そのときご紹介を頂いたのが、石井さんのイタリアで唯一の知り合いで、今回の調査の中心となったモデナ市で重度障害のある子どもの通所施設アリアンツァを立ち上げたチロ・ボニーニさんでした。2002年6月最初の調査で、ボニーニさんは、我々を重度障害者が入所する施設カリタスに案内してくださり、また、モデナ県における統合教育のキーパーソンであるキアラ・ブレッシアニーニさんをご紹介して頂きました。ブレッシアニーニさんは、まさに「多様性の歓待」*Accoglienza della diversità*の心で我々を迎え、モデナの幼稚園から高校まで、特にひっそりと残っていた聾学校まで、また多様な障害のある子どもから移民まで、モデナの統合教育のなまの実態を、時には私たちの執拗な質問にいらいらしながらも、教えて頂きました。

ボローニャは、前回の「主要国」の科研からの調査対象でしたが、今回の調査で、イタリアてんかん協会代表のジョバンニ・バティスタ・ペッシェさん、サント・オルソラ病院の医師であり臨床心理士のドレッラ・スカルポーニさんとの出会いはとてもエキサイティングでした。

ボルツアーノのファウスト・コンセルさんとお母様との出会いから、本報告書のために寄稿頂きました。

通訳は私たちの調査の大きな力でした。東京大学フィレンツェ研究所の土肥秀行さんからの紹介で、オペラ歌手を目指す藤井泰子さんにはローマからモデナまで通って頂き、私たちが一番知りたかったことを見事に聞き出してくれました。ボローニャ大学政治学部の藤原紀子さんには、初めての通訳の体験でしたが、4回の調査の通訳として、また多くの資料の翻訳もお願いしました。

この研究で得られた多くの資料以上にイタリアで出会った人々との温かい交流が、私たちの大きな財産になりました。この場を借りて、我々の調査にご協力を頂いたお一人お一人に厚く感謝を申し上げます。

多くの資料を十分に吟味しきれず、また消化もしきれず、報告書を作成する時限に追われて、本報告書にまとめました。本研究で得ることができた貴重な資料をイタリアの障害児教育に関心のある方、またイタリアの文化に関心のある方と共有し合い、これらを基にしてさらにイタリアの研究が広がることを願います。

研究代表者 石川政孝

平成 16 年度科学研究費補助金「イタリアのインクルーシブ教育における
教師の資質と専門性に関する調査研究」にかかる研究成果報告書

平成 17 年 3 月 発行

編 集 教育支援研究部

発 行 独立行政法人

国立特殊教育総合研究所

〒239-0841

神奈川県横須賀市野比 5 丁目 1 番 1 号

電話 046-848-4121 (代表)

FAX 046-849-5563

URL <http://www.nise.go.jp>
